

メタ・プラットフォームズ (META)

増収増益。力強い売上成長とコスト削減効果によりコンセンサスを上回る成長。米関税の不確実性の渦中でソフトウェアレイヤーが注目を集めるか。

ナスダック | インフラ・ソフトウェア | 業績フォロー

BLOOMBERG META:US | REUTERS META:OQ

直近業績：2025 年 7 月 30 日（米国時間）発表の 2Q2025（12 月期）の業績は、売上高が前年同期比 21.61% 増の 475 億 USD、営業利益が 204 億 USD、最終利益が 183 億 USD となった。粗利率は前年同期比で 0.34 ポイント改善、営業利益率は同 5.11 ポイント改善。一方、設備投資によりフリーキャッシュフローは対前年比で 21.3% も減少した（表⑤および表⑥）。自社株買いと配当による株主総還元額は、フリーキャッシュフローに対して 1.3 倍の規模で 1Q25 より継続して実施しており、依然意欲的である（表⑥）

事業概況：Family of Apps (FoA) セグメントの成長は力強く、売上収益は前年同期比で 21.7% 増。セグメント営業利益も同 29% 増となり、営業利益率は同 2.99 ポイント改善。Reality Labs は、Ray-Ban Meta AI Glass の売上が好調であることが伝えられたが、Meta Quest の売上減少や研究開発費の増加などから、売上は前年同期比では 5.7% 増と小幅上昇、営業損失は拡大した（表③）。FoA 事業の KPI では、1 日あたりアクティブユーザー数(DAP)は前年同期比 6.4% 増であったのに対し、ユーザー一人当たり平均収益(ARPP)は同 14.8% 増であった。広告表示頻度やアプリ内 E-コマース成長による増収であったと言える（表④）。

投資論点・リスク：Meta の市場ベータ (β) は 1.27 と市場連動性が 1.0 を超えており、指数リターンにレバレッジをかけるようなリスクテイクになる。過去 52 週の日次平均リターン (r) は 0.18% に対し、ベンチマークとなる S&P500 は 0.07%。βのみで説明される META の推計日次リターンは 0.08% であり、実測の平均日次リターンとの差分（アルファ）は 0.09% である。また過去 52 週において、 $r + 1\sigma$ （シグマ）の範囲を超過する投資利得の観測日数は 30 日あり、 $r - 1\sigma$ を超過する損失の観測日数 27 日を上回り、価格の上方バイアスが強い。過去 52 週では対市場リスクおよび対企業固有リスクで十分な利得をもたらしたといえる（表①）。

5 月 1 日～7 月末の 3 ヶ月間で Meta 株式が最も高い日次リターンを出したのが 2Q 決算発表翌日の 7 月 31 日である。この日、S&P500 は前日比 -0.37% で終えたのに対して、Meta 株式は前日比 10.66% 上昇し、773.44USD で終えた。この日、NVIDIA などの半導体ベンダーが下げた一方、Amazon (+1.70%)、マイクロソフト (+3.95%) などのハイパースケaler は上昇。好決算の影響に加え、米関税影響を受けにくい、ソフトウェアレイヤーの企業が選好された可能性がある。

好決算を受け、業績予想の市場コンセンサスは上方修正（表②）。純額 1470 億 USD の固定資産に対して 20.4 億 USD の AI 関連設備を売却予定とし、自前主義から共同開発パートナーを探すという方針へ転換。売却キャッシュフローによる配当や自社株買い、Reality Labs の改革等が今後の上昇余地と言える。

通期実績推移 (12月期)	FY22	FY23	FY24	CAGR	FY25(F)
売上高 (百万USD)	116,609	134,902	164,501	18.8%	194,053
当期利益 (百万USD)	23,200	39,098	62,360	63.9%	84,227
希薄化後EPS (USD)	0.38	0.54	0.51	15.8%	33.53
一株あたり配当 (USD)	0.00	0.00	2.00	--	2.13

四半期実績推移	2Q24	1Q25	2Q25	ΔY/Y	3Q25(F)
売上高 (百万USD)	36,455	42,314	47,516	30.3%	48,815
売上総利益 (百万USD)	29,815	34,742	39,025	30.9%	--
粗利/売上高 (%)	81.79	82.11	82.13	+0.34pts	--
営業利益 (百万USD)	13,818	17,555	20,441	47.9%	--
営利/売上高 (%)	37.90	41.49	43.02	+5.11pts	--
当期利益 (百万USD)	12,369	16,644	18,337	48.2%	--
希薄化後EPS (USD)	4.71	6.43	7.14	51.6%	8.27

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

* 青字・水色字はアナリストの計算、集計による

フィリップ証券株式会社・リサーチ部

三角友幸

TEL : +81 3 3666 0707 (直通)

E-mail : tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

予想配当 (USD)	2.13
株価 (USD)	635.50
実績 PER (倍)	42.74
予想 PER (倍)	24.08
時価総額 (10億 USD)	1,597.9
企業価値 (10億 USD)	1,577.1
3ヵ月平均売買代金 (百万USD)	10,603.9

* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は8/6終値による

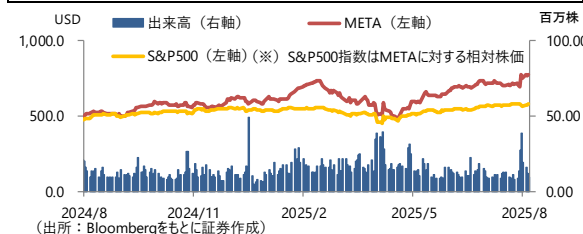
* 実績PERは過去12ヶ月累計EPSによる

会社概要

■2004年にマーク・ザッカーバーグ氏により設立されたソーシャルメディア企業。2012年にナスダックにクラスA 普通株式を上場。2022年に社名をメタ・プラットフォームズへ変更。クラスA普通株式は一株1票の議決権を持つに対して、クラスB株式は一株10票の議決権を持つ。クラスB株式の主たる保有者である現 CEOマーク・ザッカーバーグ氏が議決権の過半数を有する。

■Family of Apps：主要SNSであるFacebook、Instagram、Messenger、WhatsAppに掲載される広告収入が主たる収益源である。

■Reality Labs：メタバース技術を事業化。VRヘッドウェアのMeta QuestやRay-Ban Meta AI Glassなどのウェアラブル、AI関連ソフトウェアが収益源。



① 株価リターンデータ *	META	S&P500	β推計値	α(アルファ)
市場ベータ (β)	1.27	1.00	--	--
% 日次平均リターン (r)	0.18	0.07	0.08	0.09
% 日次標準偏差 (σ: シグマ)	2.25	1.19	1.51	1.52
r + 1σ 超過利得・観測日数	30	18	--	--
r - 1σ 超過損失・観測日数	27	25	--	--

* 2024/8/2～2025/8/6の株価（終値：ブルームバーグ）に基づいて算出。

* 各項目については次頁参照。

業績詳細 (単位：10億USD)

② 市場予想コンセンサス値	FY2024	前回予想	今回予想	年成長率
予想通期売上高	164	186	194	18.3%
予想当期純利益	62	65	84	35.5%

* 各予想値はブルームバーグのコンセンサス、成長率は各予想値とFY2024実績に基づく。

* 前回予想は5/2、今回予想は8/7時点のデータ。

③ セグメント別業績	2Q24	1Q25	2Q25	ΔY/Y
Family of Apps 売上収益	38.7	41.9	47.1	21.7%
Family of Apps 営業利益	19.3	21.8	24.9	29.0%
% Family of Apps 売上/営利	49.9	51.9	52.9	+2.99pts
Reality Labs 売上収益	0.35	0.41	0.37	5.7%
Reality Labs 事業損失	(4.48)	(4.21)	(4.53)	1.1%

④ KPI	2Q24	1Q25	2Q25	ΔY/Y
DAP (10億人)	3.27	3.43	3.48	6.4%
ARPP (USD)	11.89	12.36	13.65	14.8%
広告表示頻度 (%前年同期比)	10.0	5.0	11.0	--
広告単価成長 (%前年同期比)	10.0	10.0	9.0	--

* DAPは一日あたりアクティブユーザー数、ARPPは一人当たり平均広告収入。

⑤ 費用および投資	2Q24	1Q25	2Q25	ΔY/Y
研究開発費	10.5	12.1	12.9	22.9%
うち株式報酬費用	3.7	3.4	4.0	8%
設備投資 (資本支出+リース)	12.6	13.6	17.0	35%

⑥ 利益および還元額推移	2Q24	1Q25	2Q25	ΔY/Y
当期純利益	13.4	16.6	18.3	36.6%
フリーキャッシュフロー	10.8	10.3	8.5	-21.3%
配当総額	1.2	1.3	1.3	8.3%
自社株買い (クラスA普通株)	6.2	12.7	10.1	63%
%還元総額/フリーキャッシュフロー	68.5	135.8	134.1	--

(引用:表③～⑥は企業公表値にもとづいてアナリストにより作成)

* 青字・水色字はアナリストの計算・集計による。

<レポート右図表における『株価リターンデータ』の項目における用語説明>

レポート右図における『株価リターンデータ』の各項目を以下のように定義し、情報端末より引用、もしくは情報端末の市場データを用いて算出しています。

市場ベータ（ β ）	ブルームバーグ端末より参照した市場ベータ値（未修正*）。当該株式と指数との連動性を示しており、当該株式を保有する投資家が取っている市場リスクの多寡を示す。 * 未修正とは、ブルームバーグ調整ベータと異なり、時価総額による調整を行っていないことを指す。
日次平均リターン（ r ）	観測期間における日次リターン（前日終値に対する当日終値の上昇・下落率）の平均値。
日次標準偏差（ σ ：シグマ）	観測期間における日次リターンの標準偏差であり、投資家が取っている価格リスクを示す。
$r + 1\sigma$ 利得超過・観測日数	過去 52 週（営業日数 250 日前後を想定）における実測の日次リターン（利得）が、平均リターン(r)と標準偏差(σ)×1 の和を超過した日数。
$r - 1\sigma$ 損失超過・観測日数	過去 52 週（営業日数 250 日前後を想定）における実測の日次リターン（損失）が、平均リターン(r)と標準偏差(σ)×1 の差を超過した日数。
β 推計値	S&P500 をベンチマーク指数とし、ベンチマークの日次リターンに当該株式の市場ベータを乗じて導出した、当該株式の日次リターンの推計値および推計日次リターンの標準偏差値。
α （アルファ）	β 推計された日次リターンと実測日次リターンとの差分。投資家が当該個別株に投資することによって得られた市場リスクに対する理論上の超過利得（損失）を示す。

* 当該株式のリターン、S&P500（指数）リターン、 β （ベータ）と α （アルファ）には以下の関係があると想定する。

$$R_{\text{株式}} = \alpha + \beta \times R_{\text{指数}}$$

$R_{\text{株式}}$: 当該株式の価格リターン
 $R_{\text{指数}}$: ベンチマークとなる指数の価格リターン

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL : <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者 : リサーチ部 三角友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平 14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。